

洛和会音羽病院京都口腔健康センターに受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在、京都口腔健康センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究では、患者さんの日常診療で得られたデータ(情報)を利用させていただきます。ご自身のデータがこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、情報の利用や他の研究機関への提供をいつでも停止することができます。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身のデータがこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名：

下顎前突症患者における下顎枝矢状分割術または下顎枝垂直骨切り術後の下顎頭体積変化と顎関節症状の変化に関する研究

●対象となる患者さん：

2022年1月1日から2025年4月30日の間、当科を受診して顎変形症(下顎前突症)と診断され、下顎枝矢状分割術または下顎枝垂直骨切り術による下顎後方移動術(下顎単独手術、上下顎移動術)を受け、X線写真・CT画像など資料が整っている方。

●研究の目的

下顎と後方に移動する際には、下顎枝矢状分割術(以下、SSRO)または下顎枝垂直骨切り術(以下、IVRO)が行われます。それぞれ利点・欠点があり手術前に患者さんとともに相談のうえで手術方法を決定しています。術後の経過観察を行っている顎関節を構成する下顎頭に変化が生じていることがあります。下顎頭の体積変化は術後の顎位および咬合の安定を考慮した場合に重要です。これまでSSROとIVRO後に下顎頭体積変化を比較した研究はほとんどありません。手術方法の違いによって術後の下顎頭体積変化に差があるかを明らかにすることは手術方法を選択する際に、患者さん・治療医にとって有益なものになります。

●研究期間：

当院の研究倫理委員会承認日から2027年3月31日

●使用させていただく診療データ：

基本情報(性別、年齢、身長、体重、治療期間)、診断名・術式・頭部X線規格写真、ヘリカルCT画像

●個人情報の取り扱いと倫理的事項:

研究データは、患者さんを直接特定できる個人情報の取り扱いと倫理的事項研究データは、患者さんを直接特定できる情報(お名前やカルテ番号など)を削除し匿名化しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

●研究への試料・データ提供による利益と不利益

・利益:患者さん自身には特別な利益はありませんが、この研究結果が手術成績の向上に役立つ可能性があります。

・不利益:本研究では、患者さんに対する不利益はありません。

●研究終了後のデータの取り扱いについて

本研究に関する資料・情報は、パスワード設定されたパソコンと USB、または鍵のついた保管庫で保管します。保管する期間は、研究終了日から5年間または研究結果の報告日から3年間のいずれか遅い方とします。

●研究成果の発表について

本研究の成果が論文や学会で公表されることがありますが、その場合も第三者に患者さんに個人情報明らかにならないように厳重に守られます。

【研究への試料・データ使用の拒否と中止について】

本研究への試料やデータの提供を拒否・中止したい場合には下記の「問い合わせ窓口」にご連絡ください。拒否や中止のご希望があった場合、患者さんの試料・データを本研究に使用することはありません。しかし、すでに研究成果を論文などで発表していた場合には、結果を破棄できない場合もあります。また、拒否や中止を希望されても何ら不利益を受けることはありません。

●研究責任者および問い合わせ先

洛和会音羽病院京都口腔健康センター・口腔外科、京都顎変形症センター

研究責任者名 尾崎尚

住所:京都府京都市山科区音羽珍事町2

電話:075-593-1329

2026年4月8日作成